
各角恋愛模様（短編寄せ集め）

著著寝留化

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

各角恋愛模様（短編寄せ集め）

【Zコード】

Z7871Z

【作者名】

著著寝留化

【あらすじ】

まあ……妄想って大切……みたいな

微妙に繋がった形で恋愛模様みたいな

好きです ラブコメ

年下の彼氏

年下の彼氏が出来た。私に。……うん、それがどうした、おのれリア充目という話だらう。いやいや、まあまあ。聞いて欲しい。これまで私に出来た彼氏というのは、年下ではなく、同じ年や年上が多かった。ファザコンの氣があるのは認める。ま、それはいい。

で、だ。

ゲロを盛大に吐きながら告られるというなかなかパンキッシュでクレイジーな告られ方をし、そしてOKを出したという謎。いやまあ謎でもなんでもなくて、実際見た目は好みだし、仕事は早い。優しい。イケメン。気が利く。年下とは思えない、スマートさを兼ね備えてる、けれど、微妙に間抜け。まさか自分にショタ属性があつた事に驚きを覚えつつ、OKした。ゲロ吐くとは思わなかつたけど。スゴイネタだ、ま、それはいい。ただ一つ、問題があるとすれば

……バイト

という点だらう。私は正社員。同じ職場だ。

そう、職場の飲みに行き、その時、アドレスを交換し、デートを何故かすることになり、そしてゲロを吐きながら彼奴は告白してきただけだ。すさまじい。おかしなヤツである。

「えーと……じゃあ寝ますか」

「寝るのー? もうー?」

見た目は草食系という感じだったのに、意外とガツツかれた。いやいや。……悪くない。まあその話はひどく個人的な話なので置いてくとして。ノロケついでに言つなら、思つた以上に上手かった。まあそれもどうでもいい。

さて……

私は二十七で彼は二つ下。社会に出てしまえば、年齢どころは存外どうでもよくなるモノだ、と思う。十代は一つ違うだけで、何ががひどく素晴らしいこと、何も考えずに思つてたが……大人だからと言つて、大人だと限らないと学んだのはいつだつたつけ？ その点、

「のん」
「何？」

「無茶苦茶可愛い」

「ーん……たてさて。色々と悩んでいるのだ。最近。料理は高い（多分私より）、笑顔が可愛い。微妙に抜けてる所も可愛い。これが、二つ上の余裕かしらん、と思いつつ、まあ実際収入も私が上がり、デートの時は向こうが多めに払う。気合い（勿論色んな意味を込めて）を入れている時は彼奴持ちが多い。

正直に言おう。

ヤバイ好きだ。

……。

それでもって、私の口はなかなか素直に動かない。これが年上の苦惱つてヤツかしらん。……なんかこう言つてしまつと負けた気がする的な。これまで付き合つた年上の方が『可愛い』と言つてくれなかつたのはそんな感じなのかしらん。なんて呴いてみたりして時間稼ぐ。つか私はのんこじやないつつい。……ちなみに気合い（勿論色んな意味を込めて）が入つてゐる時は「さん」が取れる。私が『蕩れる』。困つた。困つた困つた困つた。

正直に言つちやおう。

怖いのだ。

……いや、そもそも彼奴が居なくなつてしまえばそれはその苦惱云々の話では済まずに、きつともつと何かが、ねばついて、巣くつて、抉つている何かが……何かがなくなる。これまで付き合つて、寝て、色々としてきたが、どうも厄介な事に、巣くつてしまつた。

追つたら逃げられる気がする。

犬っぽい、此奴で彼奴に逃げられてしまつよつた。

抱きしめきつた瞬間、消えてしまいそうで……。

おいおい私。どうした私。美人社長を目指していた私は何処へ行つた？

イケメン男妾でも五、六人侍らすか、かつかつか、とやううとしていた私は何処へ行つた？ええい！恋愛は無理難題を仰る！などと真似ながら「あちょー」と奇声を発しながら焼きそばを作る。

いや、ていうかアレだ。抱きしめたら消えてしまいそうで、は、普通なら男側の台詞だろう。なんだろう？まあ確かに彼奴は微妙に

乙女な部分もあって、そつ、妙に可愛いアイテムが好きで、変なマニアックな……いやいやいやいやいやいやいや私。ちょっと待て私。どうした私。いやつまり私。いやいやいやいや私。誤魔化すな私。

何を考えている?

彼奴がゲロを吐いていた瞬間、考えていたのは

『ふむ……まあしばらく遊んでも……』

だつたぞ? おかしいな。いつの間に。

どうして主導権が向こうに移動している? どうで間違えた? 一シア恥部は私が握っていたのではなかつたのだろうか。恥部! 恥部! もうわからん! ええい! いたまれろ! 焼きそば! と、焼きそばに美味しくなあれの呪文をかけながら、ふしきなおどりを踊つてしまつ。だー! と頭をかきむしろうかと思つたが自制した。

うーむ。これは重傷だ。どうじよつ? 結婚するべきだらうか?

いや、待て! ……難しい。

別に一緒になつていいんだが……仕事はどうしよう? 私が家事? ……正直向いてないのよね、と。彼奴の部屋に行つた時、いやまあ、彼奴の部屋は私の部屋より狭いんだけどさ。何て言うの? 空間の使い方とか上手くて。バイトで収入が私よりないのに、家具を上手いこと揃えてる所とか、凄いなあとと思って つてだ・か・ら! そうじゃなくて! そうじゃないのよーのんこー

いやだからのんこじやなこつこーし!

彼奴の性だ! そう! 彼奴の性! つまりはこれから電話をかけて仕事が終わつたら、彼奴の性ということじで、飯を奢らせて……奢らせて……むう……理由じよつとしてる。

なんだろう? 危介だな、私。

いやもういつその事、彼奴に主夫になつて貰つて、仕事しながら生きようかしら……。それスゴイかも！一人で頑張る！そしたら家賃もスゴイ安い！私大変！？いやでも……家に居るよりかは……つて、い……言えるかな？も、もし、だよ？……そう、もし……

「俺がのんちゃんを養つよ」

つてやかましいわ！小さい私！大合唱かよ！

ていうかのんこさんじゃないし！

いやん。裏返して。みたいな表情になりそう。でも私、他人から見るとそれほど表情に変化ないらしいのよね。

おかしい……一ノ瀬部屋に歸る日は一が間違えは当社黒戸の作
変わらない氣がするのに。時々彼奴がじつと私の目を見ていの時と
かは多分、色々とバれてるんじゃないと内心色々ぐじゅぐじゅし
ていて……つてもう！あー！わかんない！
というわけで、もうアレだ！これはデータするしかない！

そうと決めた私は結構気合いを入れて（色々と上から下まで）準備にとりかかる。

決戦じゃー勝負じゃ！

結局、今日も何一つ決まらなかつた。

あー……彼奴の汗……舐め取りたいかも……

我ながら変態だとは思つ……。

……これって知られても大丈夫よね？

……うむむむ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7871z/>

各角恋愛模様（短編寄せ集め）

2011年12月25日12時51分発行